

インフォメイトしょく

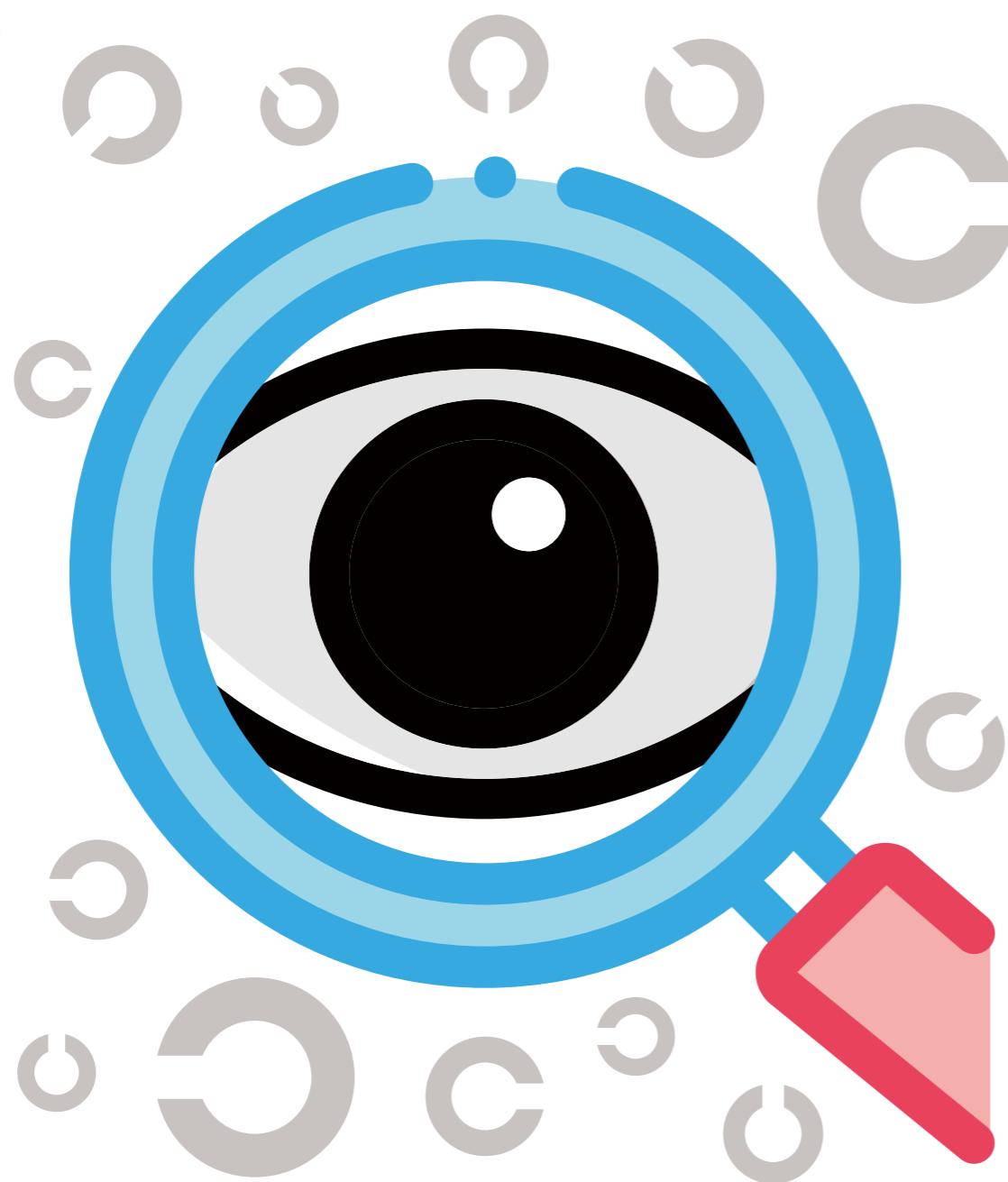
▶ アイセンターのご紹介

～白内障と網膜硝子体手術適応疾患について～

▷ Topics: インスタグラムを始めました／人間ドックのご紹介…P06

2024.Sep

Vol. 44



3 2 1
急性期病院として高度専門医療、救急医療を実践します
科学的根拠に基づいた医療を提供します
病院の理念

4 5 6
がん拠点病院としてがんの予防から治療までを担います
信頼される優れた医療人を育成します
健全な病院経営に努めます

[栄養科より] 塩分について学ぶ

皆さんは1日にどのくらいの塩分を摂っているかご存じですか。日本人の成人1人1日あたりの食塩摂取量(2019年国民健康・栄養調査)は男性11g、女性9g程度です。10年前に比べて減少していますが、「日本人の食事摂取基準(2020年版)」では目標量として男性7.5g未満、女性6.5g未満とされています。また、すでに高血圧などの生活習慣病がある方では重症化予防のため、男女とも6g未満が目標量です。そのため、1食あたりの塩分は、2g程度になるよう組み合わせてみましょう。栄養成分表示には必ずナトリウム(食塩相当量に換算したもの)が示されていますのでご参考にしてください。

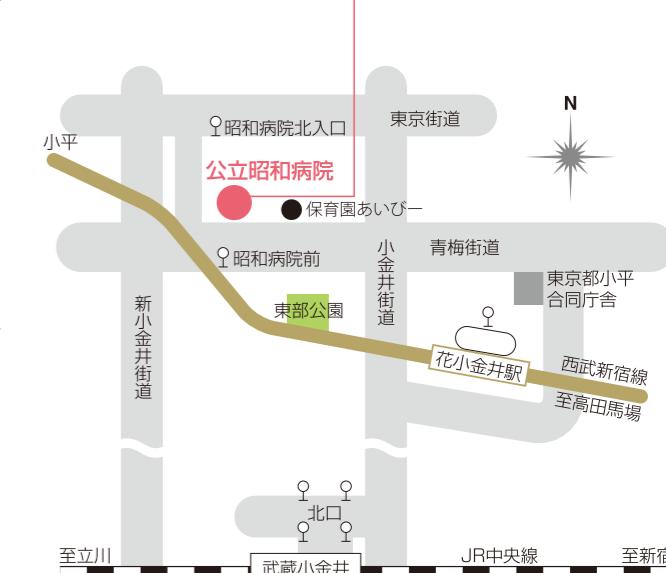
また、特に塩分を多く含む食品類(漬物・干物・汁物や練り製品、加工品、麺類など)は、量や回数を減らすことが減塩のコツです。ほかにも、減塩の調味料や香味野菜、香辛料・酸味などをうまく利用するのも良いでしょう。

当院の献立では、薄味でもおいしく感じられるように、味の濃淡をつけメリハリを出すよう工夫しています。



■ 交通案内

- 西武新宿線「花小金井」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車8分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車8分「昭和病院前」下車
タクシー乗車約7分
- JR中央線「武蔵小金井」駅 北口下車
- 西武バス『武21』錦城高校経由東久留米駅西口行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車900m
タクシー乗車約15分
- JR中央線「国分寺」駅 北口下車
- 立川バス『寺51』昭和病院行き乗車30分「昭和病院」下車
立川バス『寺56』大沼団地行き乗車30分「昭和病院前」下車
タクシー乗車約20分
- 西武池袋線「東久留米」駅 西口下車
- 西武バス『武21』西団地経由武蔵小金井駅行き乗車20分
「昭和病院北入口」下車900m
タクシー乗車約18分
- 西武新宿線「小平」駅
北口下車小平市コミュニティタクシー(ぶるべー号)
大沼ルート乗車15分「昭和病院」にて下車
- 南口下車西武バス『武17』昭和病院経由
武蔵小金井駅行き乗車10分「昭和病院」下車
タクシー乗車約9分
- 都営バス『梅70』青梅車庫前～花小金井駅北口「昭和病院前」下車



公立昭和病院

【発行】公立昭和病院

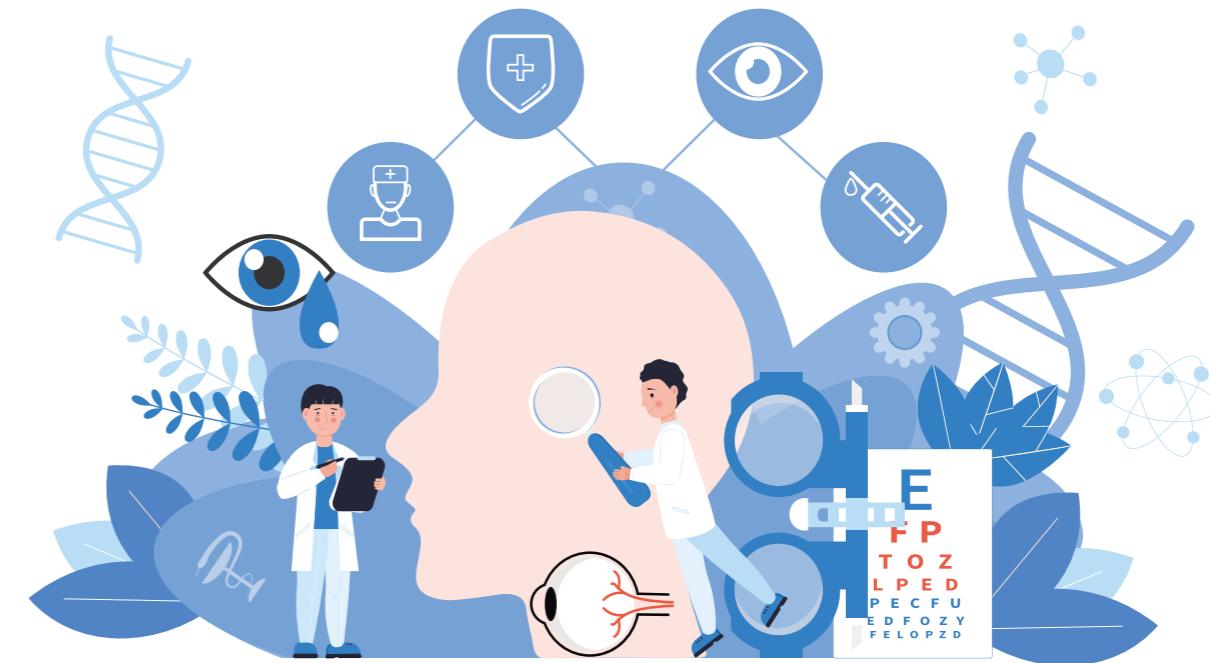
【編集】広報委員会

〒187-8510 東京都小平市花小金井8-1-1 www.kouritu-showa.jp

Tel:042-461-0052(予約専用ダイヤル:042-461-4896) Fax:042-464-7912

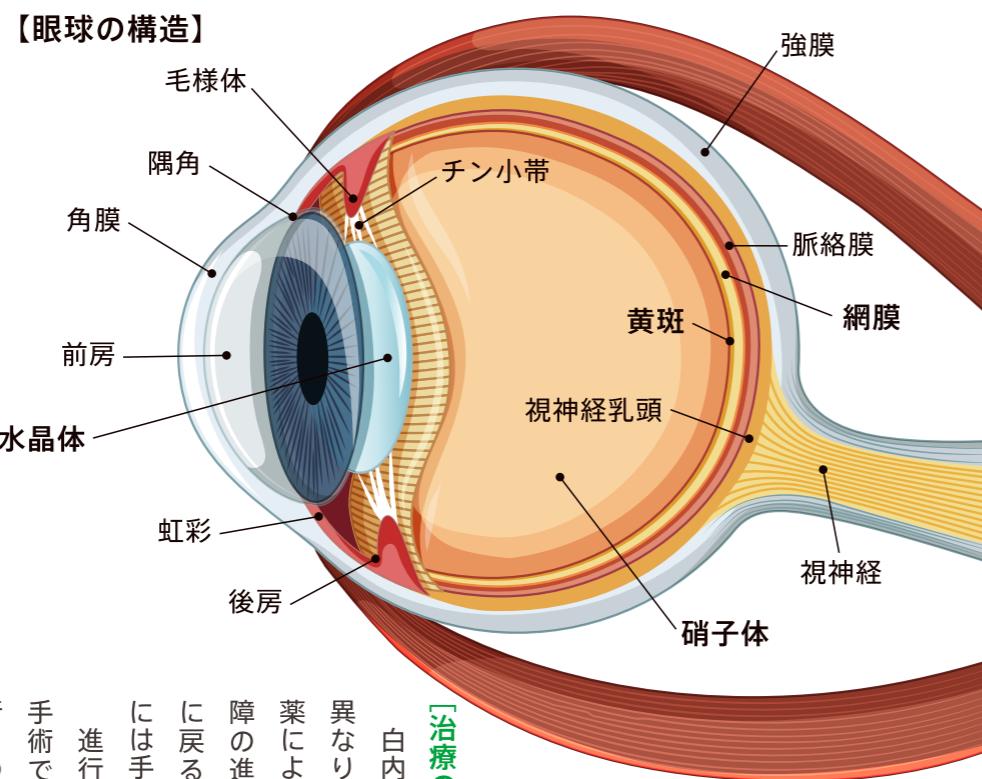


アイセンターのご紹介



眼科は眼球という小さな臓器を扱う科ですが、様々な病気があり、手術や硝子体注射などの外科的治療やレーザー治療、点眼治療など疾患によって治療も多岐に渡ります。また未熟児からお年寄りまで幅広い年齢の患者さんが受診する科で、全身疾患との関連もあり、他科との連携も大切にしています。

当院では令和3年から新たにアイセンターとして稼働を開始し、受付から診察完了までセンター内で完結できるようになりました。難症例を含む白内障手術症例の他、網膜硝子体疾患、緑内障やぶどう膜炎、黄斑疾患など、あらゆる疾患が日々紹介されています。特に白内障手術と硝子体手術に力を入れており、今回は白内障と網膜硝子体手術適応疾患についてご紹介します。



白内障

水晶体というカメラのレンズの役割を果たす組織が混濁する病気を白内障と言います(写真①)。

白内障は様々な原因で起こりますが、加齢によるものが最も多く、早い人では40代から、80代では100%の人で白内障を発症しています。その他の原因として、糖尿病やアトピー性皮膚炎など全身疾

【治療の方法】

患や先天性、外傷性、薬剤性、放射線によるものなどがあります。

症状として、水晶体が濁り始めると、水晶体で光が散乱するため、「かすむ」、「物が二重三重に見える」、「まぶしい」などの症状が出現し、進行すれば視力が低下し、眼鏡でも矯正できなくなります。

白内障の治療方法は病状の進行段階によつて異なり、症状が軽度の場合は手術を行わず、点眼薬による治療を行います。ただ、薬の使用は白内障の進行を抑えることが目的で、水晶体が透明に戻るわけではないため、症状が進行した場合には手術を行います。

進行した白内障に対して、混濁した水晶体を手術で取り除き、眼内レンズを挿入する手術を行っています。最近の手術では2ミリ前後の切開創から超音波を発生する吸引器具を眼の中に挿入し、眼の中に水を灌流しながら混濁した水晶体の中身を吸引し、残した水晶体の薄い袋(水晶体囊)の中に眼内レンズを挿入する方法で行われています(写真②)。ただし、非常に進行した白内障やもともと水晶体囊を支える組織が弱い眼では、最初からまたは術中に別の手術方法が選択されることがあります。

[手術後]



写真② 手術で白内障を取り除き、眼内レンズを挿入しました

[手術前]



写真① 混濁した水晶体(白内障)

[写真後方は視能訓練士]

【写真前方左から】
専修医 張本 亮
Harimoto Akira
医長 石山 由佳子
Ishiyama Yukako
部長 白矢 智靖
Shiraya Tomoyasu
医長 吉永 秋恵
Yoshinaga Akie
医師 竹島 圭悟
Takeshima Keigo
専修医 松浦 智之
Matsuura Tomoyuki



網膜硝子体手術適応疾患

○網膜前膜

網膜の中心にある黄斑部に膜が張り(写真③)、収縮することで視力低下や歪みを感じる病気です。

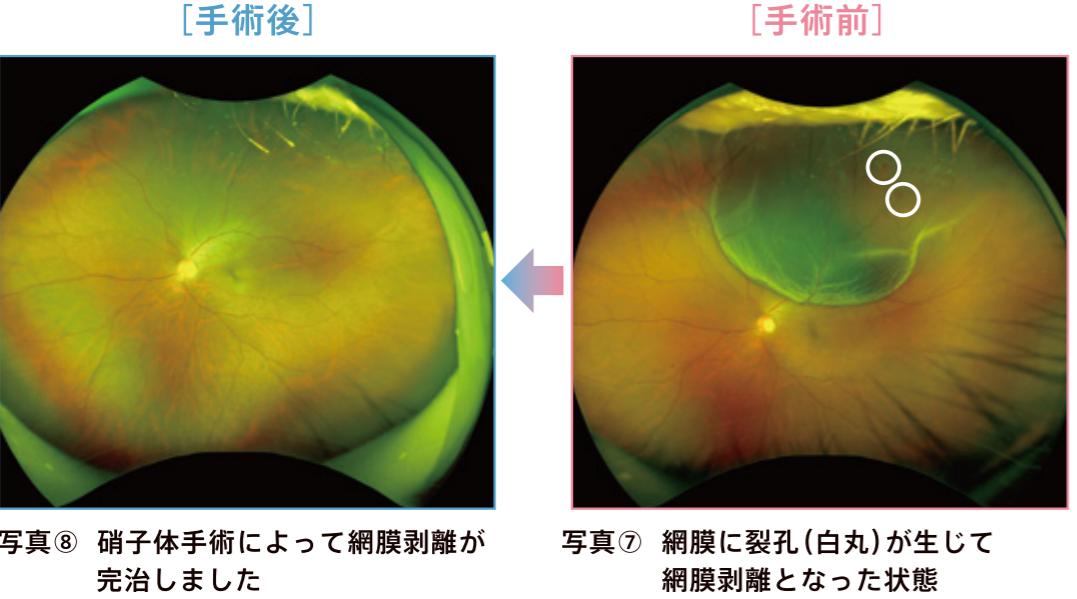
最も多い原因は加齢によるもので、眼内で網膜と接着している「硝子体」というゼリー状の物質が、加齢とともに網膜面から外れ、このときに黄斑部に薄い硝子体の膜が残り、これが増殖することが原因と考えられています。

治療は、視力低下や歪みを強く感じる患者さんは硝子体手術を行います。眼内にカッターを入れ、硝子体を切除吸引し、黄斑部の網膜前膜を剥離する手術です(写真④)。白内障がある場合は硝子体手術によって白内障も進行するため、同時に手術します。

○黄斑円孔
黄斑部にあな(孔)が開き(写真⑤)、視力が低下する病気で、50歳以上の中高年者に起こることが多く、高齢者や強度近視の方に起こりやすいとされています。

この病気も加齢が最も多い原因であり、硝子体が網膜から剥がれると引き張りが強くなると、薄い黄斑部に孔が開き、視野の真ん中に歪みを感じるようになります。

硝子体手術による治療を行い、黄斑部の内境界膜という層を剥ぎ、孔に被せる手術を行います(写真⑥)。眼内を空気で置換し、術後うつ伏せにすることで閉鎖を促す手術です。

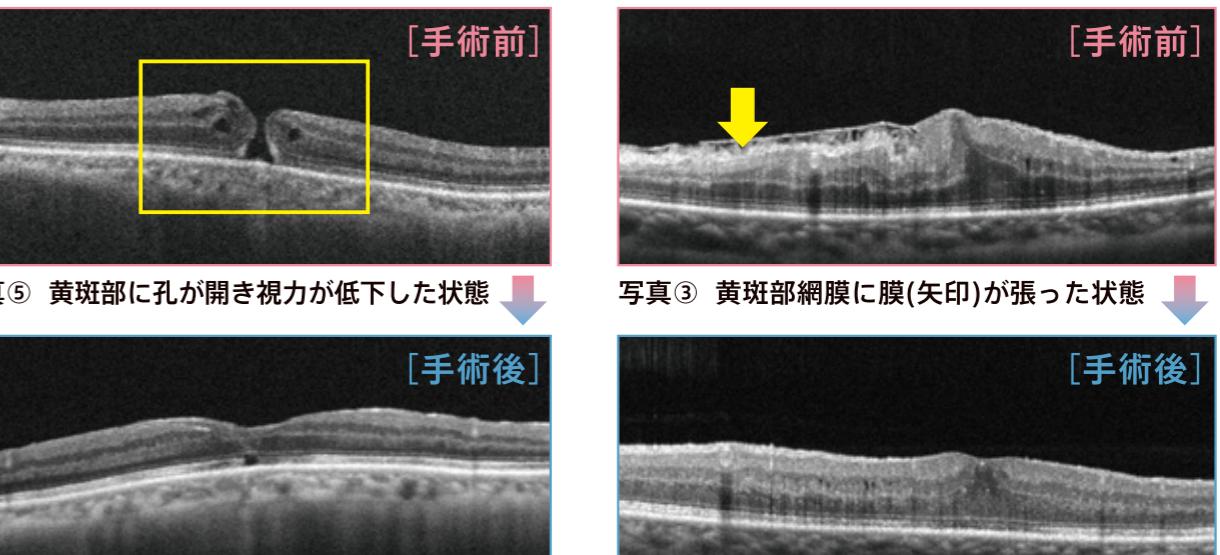


写真⑧ 硝子体手術によって網膜剥離が完治しました

写真⑦ 网膜に裂孔(白丸)が生じて網膜剥離となった状態

【治療の方法】

網膜剥離が網膜の中心部である黄斑部に及ぶと視細胞が障害されて治療をしても視力の回復が悪くなるため、比較的早期に網膜を復位させるために硝子体手術や眼球の外から当てる物を当てる網膜複位術を行なう必要があります(写真⑧)。



写真⑤ 黄斑部に孔が開き視力が低下した状態

写真⑥ 手術で円孔の閉鎖が得られ、視力も改善がみられました

写真③ 黄斑部網膜に膜(矢印)が張った状態

写真④ 手術で前膜を除去することで形態が改善し、自覚症状も回復がみされました

○網膜剥離

よく巷で耳にする網膜剥離は「裂孔原性」網膜剥離と言い、硝子体が網膜を引っ張ることで網膜に孔が開き、そこから目の中の水が網膜の下に入り込むことで起こります(写真⑦)。

近視の方に多く、好発年齢は若年者(20歳代)と中高年(50~60歳代)に起こるといわれています。

若年では網膜周辺部の変性巣が薄くなり、萎縮性円孔という孔が開き、徐々に網膜下に硝子体液が入り込むことでゆっくり網膜剥離が進行していくます。

中高年では、加齢により硝子体が縮むときに網膜に孔が開き、比較的急速に進行する網膜剥離を起します。

自覚症状としては、飛蚊症(視野の中に黒いものが飛ぶ)や光視症(視野の端に稻妻のような光がピカピカ見える)、視野欠損(視野が少しずつ欠けてくる)が主ですが、飛蚊症や光視症は網膜剥離がなくとも生理的に起こります。



当科では多くの眼科疾患に対応し、難症例を含む白内障手術や硝子体手術、レーザー治療、抗VEGF薬硝子体内注射等の薬物療法、その他斜視・弱視の視能訓練といった様々な治療を行っています(地域の3歳児健診にも協力しています)。さらに緑内障に対する低侵襲緑内障手術(MIGS)や濾過手術、眼瞼下垂や眼瞼内反手術も行っています。

白内障手術・網膜硝子体手術は小切開で行っているため、術後の回復が早く早期の社会復帰を実現させています。日帰り・入院いずれにも対応しており、全身疾患のある方や透析の方、ご高齢の方でも出来るだけ不安の少ない状態で治療を受けて頂けるよう配慮しています。



視能訓練士の役割

視能訓練士を「ご存じですか?

視能訓練士は、視機能の検査や、小児の弱視や斜視治療を行なう国家資格です。

当院アイセンターには8名の視能訓練士が在籍しており、視機能のスペシャリストとして、乳幼児からご高齢の方まで、世代を超えて皆さまの大切な眼の健康を守るお手伝いをしています。

実際にはどんな仕事をしているの?と思われる方も多いかもしれません。今回は当院アイセンターの視能訓練士が携わっている業務と小児の視能訓練について、ご紹介します。

○ 視能訓練士の業務内容

① 眼科一般検査

眼はとても小さな器官ですが、沢山の検査があります。視能訓練士は、医師の診断や治療に必要な検査を行い、診療のサポートを行っています。

② 小児の視能訓練

答えを引き出すのが難しい小児の視機能検査を行い、弱視や斜視に対し、視力の向上や正常な両眼視機能の獲得を目的とした視能訓練を行っています。

③ 健診業務

地域の3歳児健康診査における視覚検査に参加し、弱視や斜視の早期発見に努めています。

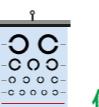
眼科一般検査

視力検査、視野検査、眼底写真、OCT、術前検査(眼軸長測定・角膜内皮細胞検査)など



視能訓練

小児の視機能検査や、弱視や斜視に対しての視能訓練



業務内容

地域の3歳児健康診査における視覚検査への参加

写真⑨ 視力検査



写真⑩ 眼位検査



下の図のように視覚の発達する年齢は限られているため、適切な時期に治療することがとても大切です。そのため視能訓練士は、小児を飽きさせることなく素早く検査を行い、できるだけ早く治療に結び付けられるよう努力しています(写真⑨、⑩)。

訓練は長期間にわたることが多く、保護者の負担も少なくありません。大切な治療を中断してしまうことのないよう、寄り添う気持ちを忘れずに関わり続けています。

私たち視能訓練士は、これからも研鑽を積み、医師や看護師、その他の関係職種と協力し、より良い医療に貢献していきます。

○ 小児の視能訓練について

弱視には様々な原因がありますが、遠視や乱視などの屈折異常が原因の弱視に対し、眼鏡装用や必要に応じて遮蔽訓練を行っています。また、斜視の治療として眼鏡を装用する場合もあります。



インスタグラムを始めました

公立昭和病院



Instagram

詳しくはこちら↓



KOURITU_SHOWA

当院HPからもアクセスできます



[七夕笹飾りの様子]



[今年度導入した手術用顕微鏡]

病院の最新情報やイベント、院内スタッフの活動などを発信していきます。
フォローといいね! ❤ をよろしくお願ひいたします。

人間ドックのご紹介

当院の予防・健診センターは(公)日本人間ドック学会の「人間ドック健診施設機能評価」の認定を受けている健診施設です。落ち着いた空間で、専門の医師による質の高い健診を提供しております。



1日ドックコースをお申し込みの方のみ、オプション検査が利用できます。

内視鏡検査をご希望の方は、経口(口から)と経鼻(鼻から)をお選びいただくことができます(事前予約)。

※MCI(軽度認知障害)リスク検査を始めました。

健診についての予約・お問い合わせはこちら

[Tel] 042-466-1800
(予防・健診センター)

[受付時間] 平日9時～16時

※詳細はホームページでも確認いただけます。



Topics

